




# 「暮らしのデザイン」のはじまり THE BEGINNING OF "LIVING DESIGN"

## アーツ・アンド・クラフツとデザイン

 ウィリアム・モリスから  フランク・ロイド・ライトまで 

格子垣 ウィリアム・モリス 1864年  
木版、色刷り / モリス・マーシャル・フォークナー商会















Trellis-white William Morris  
Printed on paper / Morris, Marshall, Faulkner & Co.

モリスが新婚時代に暮らしたレッド・ハウスの    
バラの垣根をヒントにした壁紙。バラの花に集う  
鳥や虫まで生き生きと描かれています。◀  
◀ 部屋に居ながらにして庭の雰囲気  
味わうためのアイデアだといいます。  
鳥を描いたのは親友の建築家  
◀ フィリップ・ウェブ。信頼し  
合う友との共同制作も   
モリスの理想でした。



## ARTS & CRAFTS AND DESIGN FROM WILLIAM MORRIS TO FRANK LLOYD WRIGHT

2022 9/23 (金・祝) - 12/4 (日)  府中市美術館

休館日：月曜日(10/10は開館)、10/11(火) 開館時間：午前10時から午後5時(入場は4時30分まで) 観覧料：一般900円(720円)、高校生・大学生450円(360円)、小学生・中学生200円(160円)  
\*10/7(金)~10/10(月・祝)は市民文化の日無料観覧日のため、どなたも入館無料です。混雑時には入場制限を行いますので、あらかじめご了承ください。\*○内は20名以上の団体料金。\*常設展もご覧いただけます。  
\*前売り券は、9/22まで府中市美術館、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップなどで販売します。\*未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料。\*府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で無料。  
主催：府中市美術館、東京新聞 後援：プリティッシュ・カウンスル 協力：マナトレーディング株式会社 企画協力：株式会社プレントラスト              

## それぞれに見つめた「暮らしのデザイン」

モダンデザインの父—ウィリアム・モリスは、こう呼ばれます。しかし、彼の代名詞ともいえる草花や小鳥をモチーフにした文様や中世を思わせる重厚なデザインは、その呼び名におよそ似つかわしくないように思えます。では、なぜモリスが「モダンデザインの父」なのでしょう？

モリスの生きた19世紀のイギリスは、大英帝国の絶頂期。近代化も著しく進んだ時代です。多くの人がそれを謳歌する一方で、急速な近代化

に危機感を抱く人々もいました。例えば、評論家のラスキンは職人の手仕事に支えられた中世の建築を賛美し、ラファエル前派の画家たちはラファエロ以前の古風な描き方を目指します。そんな思潮も高まる中、モリスが見つけたのは室内装飾の道でした。建築家や画家の友人と力を合わせ、壁紙や布、家具などの制作に乗り出します。それは、大量生産では決して作れない、美術品にも負けないほど美しく上質な品々でした。モリスは生活に欠かせない日用品のあり方を問うこと通して、近代化で人々が忘れかけた自然を愛する心や手仕事の喜びを取り戻し、

すべての人が生活の中で「美」を享受できる社会を実現しようとしたのです。彼が生み出したのは、単に部屋を飾る品ではなく、生活、生き方にまで通じる、強い信念に貫かれた「暮らしのデザイン」でした。

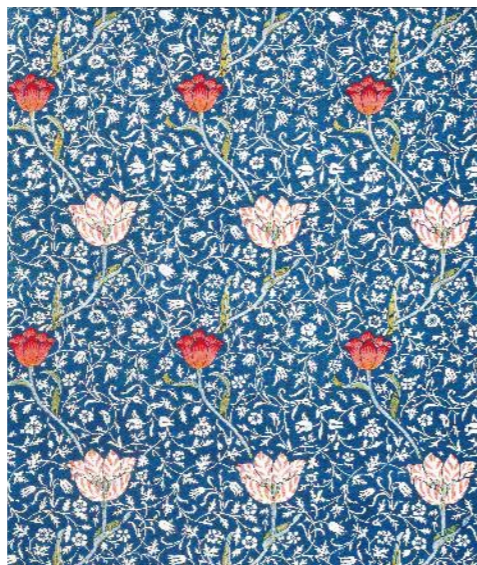
こうしたモリスの仕事に共感した多くのデザイナーや建築家たちが、「生活と美」を見つめて発展したのがアーツ・アンド・クラフツ運動です。この動きはモリスの在世中にイギリスで始まり、没後にも広がり続け、ヨーロッパ全土、さらにはアメリカにまで及びます。その展開はきわめて多彩で、造形に影響を受けたり、思想を引き継ごうとしたりと、

目指す方向はひとつではありません。時には機械化の推進などモリスとは正反対の方向へと向かうことさえありました。しかし、その出発点は「身近な生活の中にこそ美が必要だ」と信じたモリスの信念です。モリスが「モダンデザインの父」とも呼ばれるのは、このアーツ・アンド・クラフツ運動の影響の大きさと広がりのためです。

本展では、モリスとイギリスのアーツ・アンド・クラフツ運動の生んだ作品を中心に、アメリカでの動向も加えて、その世界をご紹介します。



ウィリアム・モリス いちご泥棒(内装用ファブリック) 1883年 モリス商会



ウィリアム・モリス メドウェイ(内装用ファブリック) 1885年 モリス商会

### ウィリアム・モリス William Morris 1834-96

身近な生活の中の「美」こそ、人の生き方も社会も変える、という強い信念に貫かれたデザインは現代の私たちの心の奥深くにまで響きます。

### モリス商会 Morris & Co.

モリスが新婚の家レッド・ハウスの室内装飾を友人たちと行ったことから商会は始まりました。ていねいな手仕事、幸せな共同作業……すべては、モリスが「世界でいちばん美しい家」と呼んだその家から始まったのです。



ジョージ・ワシントン・ジャック  
サーヴィル射掛け椅子  
1890年頃 モリス商会



ウィリアム・モリス  
花の鉢置の衝卓  
1890年頃  
モリス商会

### ウィリアム・ド・モーガン William De Morgan 1839-1917

モリス商会のタイルを多く手がけました。中世やイスラムの図柄の研究、さらに釉薬の研究開発にも熱心だったド・モーガンは興味や理想を共有するモリスとは生涯の友人でした。



ウィリアム・ド・モーガン フラム(タイル) 1892-1907年

### チャールズ・フランシス・アンズリー・ヴォイジー Charles Francis Annesley Voysey 1857-1941

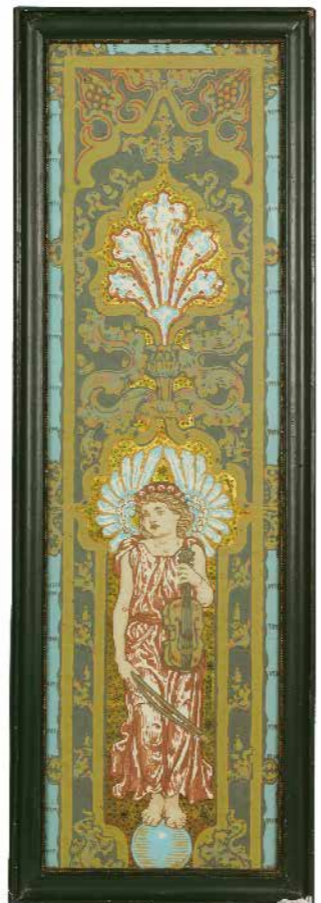
建築家のヴォイジーは、自身の設計した建物に相応しい壁紙や家具を手がけました。優しい色合いのシンプルでモダンな壁紙は、その斬新さが受け、すぐに人気になりました。



チャールズ・フランシス・アンズリー・ヴォイジー 小鳥の庭「サマソン」No. A. 14 (壁紙) 1907年頃

### ウォルター・クレイン Walter Crane 1845-1915

画家としても活躍したクレインは、室内パネルや本の挿絵に腕をふるいます。貧しい人や子どもも平等に、生活の中で美を味わうことのできる社会を目指した社会派でもありました。



ウォルター・クレイン ミュジック室内パネル  
1870年頃

### リバティ商会 Liberty & Co.

東洋の美術品や絹の輸入販売から始め、家具や布地の小売りで成功したリバティ商会。モリス商会のライバルでしたが、美しい日用品で人々の生活を彩るという理想を同じくする同志でもありました。商業的な成功も収め続け、現在でも老舗百貨店として世界中に名を知られています。



アーチボールド・ノックス 銀とエナメルのプローチ 1903年頃  
リバティ商会



アーチボールド・ノックス  
ビュターとエナメル3点組ティーセット 1900年頃  
リバティ商会



ジェームズ・クロマー・ワット  
ホワイトメタルのエナメル・ペンダント 1920年頃  
リバティ商会



リバティ・テキスタイル リバティ商会

## ルイス・コンフォート・ティファニー

Louis Comfort Tiffany 1848-1933

新大陸アメリカで裕福な家の室内装飾の世界で成功したティファニー。やがてより多くの人の手の届く卓上ランプや美しい色ガラスを用いた文房具なども手がけるようになります。



三輪のリリーの金色ランプ 1901-25年 ティファニー・スタジオ



卓上用ピクチャーフレーム ティファニー・スタジオ



ブドウのつるに覆われたインク壺 ティファニー・スタジオ

## フランク・ロイド・ライト

Frank Lloyd Wright 1867-1959

モダン建築の巨匠のひとりライトもアーツ・アンド・クラフツ運動に影響を受けました。ライトは、モリスの精神に強く共感しながらも、モリスの嫌った機械化を積極的に取り入れ、アメリカらしい新しい方向を目指そうと模索します。



フランク・ロイド・ライト「アーサー・ヘンリーのスタンレー・ハウス」1904年  
©2022 Frank Lloyd Wright Foundation / ARS, New York / JASPAR, Tokyo G2884

### 展覧会講座

「アーツ・アンド・クラフツとデザイン  
ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」  
音 ゆみ子（府中市美術館学芸員）

日時：2022年10月30日（日）午後2時  
会場：府中市生涯学習センター講堂（府中市美術館より徒歩5分）  
無料 予約不要

### 交通案内

- 京王線東府中駅北口から
  - 徒歩17分
  - ちゅうバス府中駅行き「府中市美術館」①下車すぐ【毎時5分、35分に運行・100円】
- 京王線府中駅からバス
  - ちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」①下車すぐ【毎時00分、30分に運行・100円】
  - 武蔵小金井駅南口行き（一本木経由）「天神町二丁目」②下車すぐ
  - 武蔵小金井駅南口行き（学園通り経由）「天神町幼稚園」③下車徒歩8分
  - 国分寺駅南口行き（東八道路経由）「天神町幼稚園」④下車徒歩8分
- JR中央線武蔵小金井駅南口からバス
  - 府中駅行き（一本木経由）「一本木」④下車すぐ
  - 府中駅行き（学園通り経由）「天神町幼稚園」⑤下車徒歩8分
- JR中央線国分寺駅南口からバス
  - 府中駅行き（東八道路経由）「天神町幼稚園」⑥下車徒歩8分
- お車の場合
  - 美術館近くの府中市臨時駐車場【無料・54台収容】をご利用ください。

観覧料	一般	高校生/大学生	小学生/中学生
当日券	900円	450円	200円
前売券/団体券	720円	360円	160円

- 10/7（金）～10/10（月・祝）は市民文化の日無料観覧日のため、どなたも無料です。  
混雑時には入場制限を行いますので、あらかじめご了承ください。
- 前売券は、9/22まで府中市美術館、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ等で販売します。
- 未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料。
- 府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で無料。



〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3  
ハローダイヤル 050-5541-8600  
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

府中市美術館  
Fuchu Art Museum